

CIGS セミナー

「ジャパン・インクにおけるグローバル人材マネジメント：課題と戦略」
("Managing Global Talent at 'Japan Inc.': Challenges and Strategies")

<開催概要>

日時 : 2015年9月3日 14:00 - 16:30

場所 : CIGS 会議室 (東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸ビル 11 階)

言語 : 日本語および英語 (英語の配布資料は短い日本語解説付き)

<プログラム>

14:00-14:10	開会のご挨拶 福井 俊彦 (キヤノングローバル戦略研究所 理事長)
14:10-14:20	イントロダクション 栗原 潤 (キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)
14:20-15:00	セッション I 講演 "Closing Japan's Global Talent Gap: Skilled Foreign Workers in Japanese Firms" (「グローバル人材ギャップの縮減: 日本企業における熟練外国人労働者」) Hilary J. Holbrow (International Research Fellow, CIGS)
15:00-15:45	セッション II 討論 「米国の視点に対する日本研究者のコメント」 加登 豊 (同志社大学大学院ビジネス研究科教授) 小野 浩 (一橋大学大学院国際企業戦略科教授)
15:45-16:10	セッション III 質疑応答 モデレーター : 栗原 潤 ディスカッサント : Hilary J. Holbrow、加登 豊、小野 浩
16:10-16:25	セッション IV 総括 モデレーター : 栗原 潤 ディスカッサント : Hilary J. Holbrow、加登 豊、小野 浩
16:25-16:30	閉会の辞 栗原 潤

<セミナー内容>

多くの日本企業は、過去十年に亘って、着実に外国人の雇用を増やしてきた。しかしながら、外国人労働者を日本企業に統合・融和させるという企業努力は、必ずしも成功してきたとは言い難い。

本研究セミナーの目的は、500人以上の日本人・外国人に対する面談調査を基にして、①日本企業におけるグローバル人材の重要性、②海外の人的資源を管理・活用する際の日本企業が抱える課題、更には③雇用者の特性が持つ多様性を一段と活用する戦略について、検証・確認することである。

Over the past decade, the number of Japanese firms hiring foreign workers has climbed steadily. However, firms' efforts to integrate foreign workers have not always been successful. Based on surveys and interviews with over 500 Japanese and foreign employees, this seminar examines the importance of global talent for Japanese firms, the challenges firms face in managing and utilizing foreign human resources, and strategies for greater success in diversity management.

<登壇者紹介>

加登 豊 (同志社大学大学院ビジネス研究科教授)

神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了 (経営学修士)、博士 (経営学) 神戸大学大学院経営学研究科教授 (元研究科長) を経て現職。現在バンドー化学株式会社取締役 (独立役員)、小野薬品株式会社取締役 (独立役員)、神戸すまいまちづくり公社評議員、日本貨物鉄道株式会社第三者委員会委員長、石原ケミカル株式会社独立委員を兼務。神戸大学名誉教授。

これまでにノースカロライナ大学、コロラド大学、サンディエゴ州立大学、ゲント大学、ロンドンスクールオブエコノミクス、オックスフォード大学、マンチェスター大学、シェフィールド大学にて客員研究員として研究に従事。

小野 浩 (一橋大学大学院国際企業戦略科教授)

早稲田大学理工学部卒業。野村総合研究所、研究員・コンサルタントを経て、シカゴ大学大学院社会学研究科博士課程修了、Ph.D. (社会学博士) 取得。ストックホルム商科大学准教授、テキサス A&M 大学准教授を経て 2014 年より現職。『日本労働研究雑誌』編集委員も務める。

専門は、人事管理、組織論、国際経営、人的資本理論、統計学、幸福度の研究。

Hilary J. Holbrow (International Research Fellow, CIGS)

Hilary Holbrow is an International Research Fellow at CIGS, a Visiting Scholar at Sophia University, and a Ph.D. Candidate in Sociology at Cornell University, where her

research focuses on economic sociology, organizational behavior, and immigration. Her current research on globalization and HR management at Japanese firms builds on a career in U.S.-Japan relations, including employment with the Harvard Program on U.S.-Japan Relations, Japanese local government in Okinawa, and the Japanese Embassy in Washington D.C. This research is funded by the Fulbright Program and has been recognized by the Japan Foundation and the U.S. National Science Foundation. She has published on Japanese labor markets and Asian immigration to the U.S. in **Work and Occupations** and **Daedalus** and holds a B.A. from Boston University, and M.A. in Sociology from Cornell University.